

環境エネルギーニュース

(株)ベーシック

〒438-0808

静岡県磐田市豊田8-1

TEL: 0538-35-7203 / FAX: 0538-35-7364

ホームページURL: <https://basic-pps.com/>

平成28年7月号

7月28日

東京電力ホールディングスが、福島第1原発事故の被災者への賠償や、除染、廃炉費用が当初の想定を上回るなどとして、政府に追加の資金支援を要請する方針であることが28日、明らかになりました。同日発表した東電の経営改革方針は賠償負担の在り方や廃炉の推進支援などに関し、政府が考え方を明確化する必要性を明記。数土文夫会長は記者会見で「事業環境整備を政府に願います」と述べました。

7月31日

原発の稼働に向け、電力11社が見込む安全対策費が少なくとも約3兆3千億円に上ることがわかったとの事。40年超運転を目指す原発で工事費が増え、昨年6月の時点から約9千億円膨らんだ。安全性を高めるための対策費は必要だが、増加ペースは収まらない。訴訟などで運転停止の期間が長引けば回収できなくなり、電気代に上乗せされて消費者の負担になる恐れもあるとの事です。政府がベース電源(年間を通して、一定量の電力を供給する電源)として水力・石炭火力・原子力を定めています。資本費は高いが運転コストが安いので、ベースの供給力として活用として認めております。また、ひとたび稼働させるとSTOPさせるに多く無駄が多いのか懸念材料です。

代表取締役

中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業 名倉 篤史

これまで紹介してきたエネ合補助金と異なりますが、先日、3次公募の内容が公表されました。導入する設備ごとの省エネ効果等で簡易に申請が行える制度となっています。

【中小企業等の省エネ・生産性革命投資促進事業】

3次公募: 平成28年7月29日(金)～平成28年9月9日(金)17時必着

事業概要: 導入する設備ごとの省エネ効果等で簡易に申請が行える制度を創設し中小企業等の省エネ効果が高い設備への更新

■対象機器

①高効率照明(LEDなど)

②高効率空調

③産業ヒートポンプ

④業務用給湯器

⑤高性能ボイラ

⑥低炭素工業炉

⑦変圧器

⑧冷凍冷蔵庫

⑨産業用モータ ※対象はモータ単体・ポンプ・圧縮機・送風機(工作機械は対象外)

⑩エネルギー管理システム(FEMS・BEMS)

※補助対象経費は、補助対象機器等の購入費のみで、補助率は補助対象経費の1/3以内です。

ご拝読頂き、誠にありがとうございます。今後もお役立ち情報を定期的に配信していきますので宜しくお願い致します。

省エネ対策・新電力についてはお気軽にお問い合わせください。 TEL: 0538-35-7203

今後、情報が不要な方は弊社営業又はinfo@basic-co.jpに配信不要な旨のご連絡をください。